

目次

4. 保守	4-2
4.2. データ保守	4-2
4.2.1. データの保管	4-3
4.2.2. データの復元	4-5
4.2.3. 取引データの一括削除	4-6
4.2.4. サンプルデータの一括削除	4-8

4. 保守

4.2. データ保守

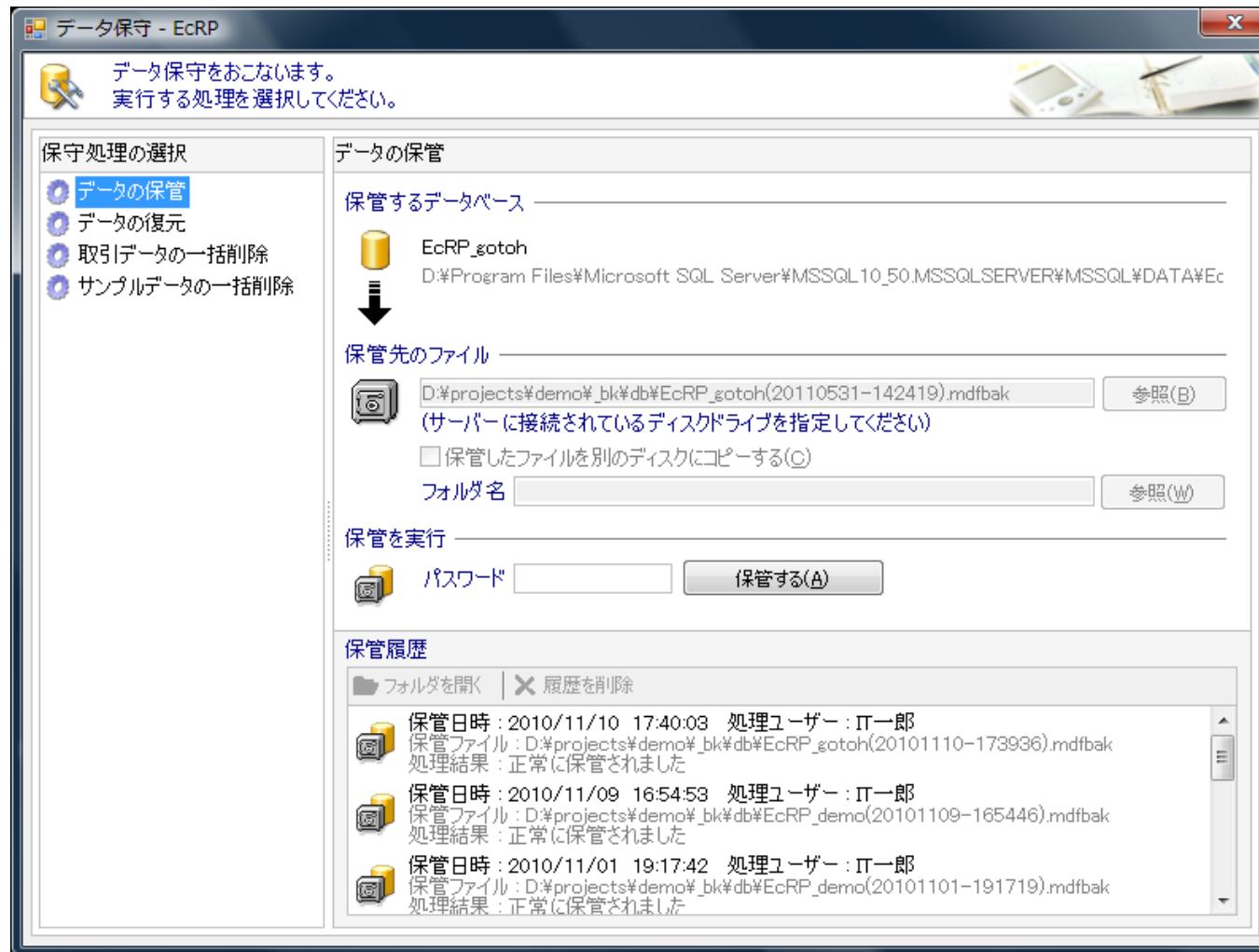


図 1 データ保守の画面

- 画面の左側に保守処理の選択が表示されます。
- 画面の右側に選択した項目の実行画面が表示されます。

4.2.1. データの保管



図 2 データの保管画面

- データベースを保管するために必要な情報を入力して、データベースの保管を実行します。

【項目説明】

No	項目名称	内容	値	備考	参照元
保管するデータベース					
1	データベース名	保管するデータベースを表示	EcRP のデータベース名・物理ファイル名が表示されます。		

保管先のファイル

- | | | | |
|--------------------------------|---------------|------|--|
| 2 ファイル名 | 保管先のファイル名を入力 | 前回の値 | スタンドアロン版・サーバー版のときに設定可能です。
「参照」をクリックして、保管先のファイルを設定します。 |
| 3 保管したファイルを別のディスクにコピーする | | 前回の値 | 保管したファイルを別のディスクにコピーするときにチェックします。 |
| 4 フォルダ名 | コピー先のフォルダ名を入力 | | 「保管したファイルを別のディスクにコピーする」をチェックしたときに設定可能です。
「参照」をクリックして、保管したファイルのコピー先を指定します。 |

保管を実行

- | | | |
|----------------|----------|---------------------------|
| 5 パスワード | パスワードを入力 | 環境設定に登録したパスワードを入力します。 |
| 6 保管する | | データベースの保管を実行するときにクリックします。 |

4.2.2. データの復元

データの復元

保管したファイル

↓

復元されるデータベース

復元を実行

※ご注意
・この処理の実行前には、他の処理画面をすべて閉じてください。
・復元すると、現在のデータベースは上書きされて内容が消えてしまいます。
十分に注意して処理を実行してください。

保管履歴

履歴の保管ファイルを選択 フォルダを開く × 履歴を削除

保管日時 : 2010/11/10 17:40:03 処理ユーザー : IT一郎
保管ファイル : D:\projects\demo\blk\db\EcRP_gotoh(20101110-173936).mdfbak(ファイルが...)
処理結果 : 正常に保管されました。保管ファイルがありません
保管日時 : 2010/11/09 16:54:53 処理ユーザー : IT一郎
保管ファイル : D:\projects\demo\blk\db\EcRP_demo(20101109-165446).mdfbak(ファイルが...)
処理結果 : 正常に保管されました。保管ファイルがありません
保管日時 : 2010/11/01 19:17:42 処理ユーザー : IT一郎
保管ファイル : D:\projects\demo\blk\db\EcRP_demo(20101101-191719).mdfbak(ファイルが...)
処理結果 : 正常に保管されました。保管ファイルがありません

図 3 データの復元画面

- データベースを復元するために必要な情報を入力して、データベースの復元を実行します。

【項目説明】

No	項目名称	内容	値	備考	参照元
保管したファイル					
1	ファイル名	保管したファイル名を入力		「参照」をクリックして、保管したファイルを設定します。	
復元されるデータベース					

2 データベース	復元されるデータベースを表示名	EcRP のデータベース名・物理ファイル名が表示されます。
復元を実行		
3 パスワード	パスワードを入力	環境設定に登録したパスワードを入力します。
4 復元する		データベースの復元を実行するときにクリックします。 サーバー版は、他のユーザーが EcRP を利用していると、復元を実行できません。

4.2.3. 取引データの一括削除

取引データの一括削除

 過去の取引データを一括削除します。この処理の前に、請求と月次の締め処理を確認し、データの保管をおこなってください。この処理で削除したデータを復活して元に戻すことはできません。十分に注意して実行してください。

処理の前に次の内容をチェックしてください

締め処理は、請求締め、月次締めともに正しく処理されていますか？	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
この処理の直前に、データの保管をおこないましたか？	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ

削除日付 / / 指定した削除日付以前の取引データを削除します。
2010/10/31以前の日付を指定してください。

パスワード

一括削除の履歴

削除日付	処理日時	処理ユーザー	処理結果
2010/10/31	2011/02/09 10:55	IT一郎	正常に終了しました

図 4 取引データの一括削除画面

- 過去の取引データを一括削除します。

【項目説明】

No	項目名称	内容	値	備考	参照元
1	締め処理は、請求締め、月次締めともに正しく処理されていますか？			「はい」「いいえ」の中から選択します。	
2	この処理の直前に、データの保管をおこないましたか？			「はい」「いいえ」の中から選択します。	
3	削除日付	一括削除する日付を入力		一括削除する日付を入力します。この日付以前の取引データが削除されます。	
4	パスワード	パスワードを入力		環境設定に登録したパスワードを入力します。	
5	一括削除を実行			「締め処理は、請求締め、月次締めともに正しく処理されていますか？」、「この処理の直前に、データの保管をおこないましたか？」で「はい」を選択したときにクリック可能です。 取引データの一括削除を実行するときにクリックします。	

4.2.4. サンプルデータの一括削除

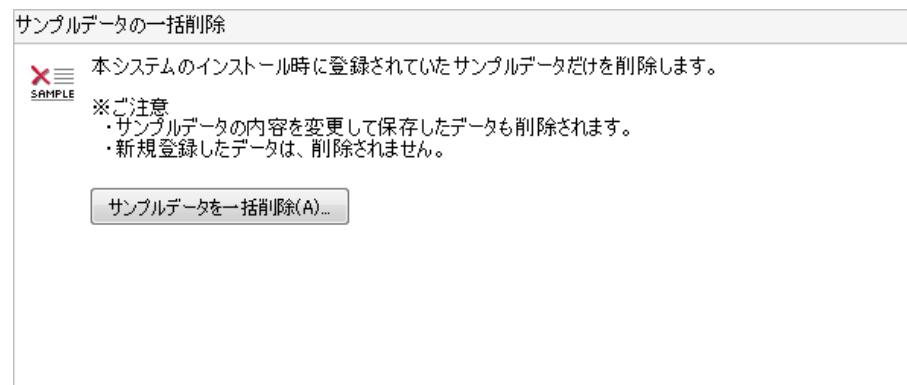


図 5 サンプルデータの一括削除画面

- サンプルデータを一括削除します。

【項目説明】

No	項目名称	内容	値	備考	参照元
1	サンプルデータを一括削除			サンプルデータの一括削除を実行するときにクリックします。	

図表番号

図 1 データ保守の画面	4-2
図 2 データの保管画面	4-3
図 3 データの復元画面	4-5
図 4 取引データの一括削除画面	4-6
図 5 サンプルデータの一括削除画面	4-8